



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.12.24 No.3515

JR千葉支社「92・3ダイ改」を提案!

またも遅れる運輸関係の中身 速やかに労働条件を提示せよ!

主な提案内容

- 1、実施時期 「平成4年3月14日」
- 2、実施内容
 - ①夕通勤時間帯の列車増発
 - ・総武、成田線 千葉～成田間1往復
 - ・外房線 千葉～誉田、千葉～茂原間1往復
 - ・内房線 千葉～姉ヶ崎間1往復
 - ②昼間帯の千葉着発の快速列車(5000台)を、「各駅停車」とする。
 - ③夜間帯「上り」京葉線直通列車を「各駅停車」とする。
外房線 上総一の宮発、新習志野行き「上り」2本
内房線 君津発、新習志野行き「上り」2本
 - ④その他
 - ・快速の佐倉分併は、「八街快速」「佐原快速」を除き廃止する。
 - ・茂原での併結作業を廃止する。
- 3、営業関係
 - ①E区間の販売体制を整備する。
 - ・浅草橋～千葉間に自動継続定期券発行機及び高額大型券売機を導入
 - ・浅草橋～千葉間の出札窓口時間の見直しを行う
 - ②旅行センター等旅行業の体制強化
 - ③構内作業の一元化をはかる。
 - ・駅で行っている誘導合図を車両職が実施する。
 - ・ホーム体制の見直しを行うための工事の実施
- 4、運輸関係
 - ①管理及び指導体制の見直しを行う。
 - ②車両職による構内入換等の兼掌化の拡大を図る。
 - ③気動車の検査周期の改正を行う。
- 5、施設・電気関係
 - ①施設と電気関係区の保守エリアを統一する。

JR千葉支社は、一月一九日「九二・三ダイ改」の概要提案を行ってきた。

今回の「ダイ改」は、動乗改悪をはじめ、駅における変形日勤の拡大・導入、あるいは窓口業務の改悪によって要員を生みだし、時短要員とするなど、「JR5万人体制」に向けた合理化元年と見なければならぬ。

JR総連の裏切り妥結による動乗問題、JRで働く全ての労働者の生命を切り売りするものであるばかりか、乗客の安全をも脅かすものである。われわれは、組合要求の骨子である、(1)定年まで働ける労働条件の獲得、

(2)運転保安の確立、へ向けて闘いに決起しなければならない。

更に、具体的解明要求・改善要求、さまざまな諸問題の解決に向けて団体交渉での解決を求め、当局を追及するものである。

今次提案での問題点は、

- ①営業関係では、九〇年一二月に強行された出改札窓口時間の設定をさらに拡大し、利用者に不便を強いるものである。
- ②施設関係では、保線の検査周期の延伸、新型マルタイ及びスイッチマルタイの導入によって要員を削減するなど、運転保安上問題があること。
- ③運輸関係では、今回出

された中身は、内・外房五〇〇〇台の快速を廃止し、各停二〇〇Kmほどの業増であること。又、乗客や県民の批判の大きい成田エクスプレスについて、上・下二本千葉駅に停車させるといふものです。

一番の問題は、動乗改悪の抜本的な改悪の中で、どのような仕業が出来て

くるのか、最も重要な労働条件について、前回ダイ改同様、ダイ改実施時期ギリギリにならないければ要員、A・Bダイヤを提案しない千葉支社の姿勢にある。

われわれは、まともに団交を行わない千葉支社を徹底的に弾劾する。輸送課は速やかに、労働条件を提示せよ!

九二一年動労千葉
団結旗開き

日 時 一月一四日一三時より
場 所 労働者福祉センター
闘いの開始!

激動の時代を切り拓く
自前の労働運動!
全力で集まろう!